

解放運動推進協議会公開講座

是旃陀羅問題に聞く

「観経及び和讃の『是旃陀羅』^{ぜせんだら}解釈は差別を助長してきた。経典の字句訂正も視野に入れ、徹底的な研究と善処を要請したい」

(1940年 全国水平社から東西本願寺への申し入れ、趣意)

私たちが部落解放同盟（当時は全国水平社）から以上のように問われて80年もの年月が経ち、大谷派ではようやく本格的な取り組みが始まっています。この問題から、私へ問いかけられていることは何か。それを確認する機会を持ちたいと思います。

是旃陀羅の語に「痛み」を感じるという被差別者の言葉をどのように受け止めているのかという自己の確かめと、自分が痛みを感じた問題を思い起こし、「痛み」という言葉からいただく私の課題を確認する会になることを願って開催します。1人でも多くの方のご参加を切望いたします。

【期 日】 2023年2月27日（月）

【会 場】 富山教務所 研修ホール

【講 師】 ^{かたやま かんりゅう}片山 寛隆 氏（三重教区 相願寺住職）

※片山先生は『真宗』2020年5月号掲載「是旃陀羅問題に関する懇談会」にて対談をしておられます。ぜひお読みください。

【日 程】 13:00 受付

13:30 開会・講義

15:20 班別座談

16:30 閉会予定

【対 象】 どなたでもご参加ください（申込不要）

【参加費】 500円